

=会 告=

講演会・見学会等の開催予定

2021年12月15日現在

開催予定期 月 日	講 演 申込締切	前刷原稿 提出締切	催 し も の	開 催 地	共催学協会名	企画部門	備 考
2022年 2月4日(金)			関西支部 第480回航空宇宙懇談会 オンライン開催			関西支部	70卷1号 会告2頁
2022年2月 26日(土)～ 3月4日(金)	2021年 8月16日(月)	2021年 12月25日(土)	第33回宇宙技術および 科学の国際シンポジウム(ISTS) ハイブリッド開催	大分県 別府市	NSAT IAA/LCPM	第33回 ISTS組織 委員会	69卷2号 会告表2
2022年3月 9日(水)～ 11日(金)	2021年 10月22日(金)	2021年 12月20日(月)	第61回航空原動機・宇 宙推進講演会*状況に よってはオンラインに 変更の場合があります。	鳥取県 米子市	日本機械学会、 日本ガスター ン学会、日本航 空技術協会	原動機・推 進部門委員 会、電気推 進・先端推 進部門委員 会	69卷9号 会告4頁
2022年3月 17日(木)～ 18日(金)	2021年 12月10日(金)	2022年 1月21日(金)	北部支部2022年講演会 ならびに第3回再使用 型宇宙輸送系シンポジ ウム オンライン開催		航空宇宙技術振 興財団	北部支部	69卷10号 会告2頁
2022年9月 4日(日)～ 9日(金)	2022年 2月10日(木)	2022年 7月1日(金)	第33回国際航空科学 会議スウェーデン大会 (ICAS2022)	スウェー デン、ス トックホ ルム			

新型コロナウイルスの感染状況に依っては、オンライン開催になる場合もございます。ご来場前には、ホームページ等で開催のご確認下さい。
<https://www.jsass.or.jp/>

会員数(2021年11月現在)

資格 概要	正会員	学生 会員	名誉 会員	賛助会員 (個人)	賛助会員 (団体)
11月会員数	3327	1179	53	0	65
10月会員数	3336	1165	53	0	65
差引増減	9	14	0	0	0

新入会員名簿正会員 (敬称略)

米津佑亮(三菱電機(株)), 温品達也(徳山工業高等専門学校), 宮下朋之(早稲田大学), 屋山 巴(工学院大学), 上田朝陽((株)SUBARU), 名倉 徹(福岡大学), 後藤 啓介(名古屋大学), 田中陽平((株)IHI), 長繩潤一(電子航法研究所), 矢野 学(フィールドアロー行政書士総合事務所), 吉田宏昭(日本電気(株))

新入会員名簿学生会員 (敬称略)

玉井亮多(東京大学), 森井直輝(静岡理工科大学), 寺地亮博(関西大学), 伊藤寛晟(九州大学), 尾身興一(東京大学・院), 古木颯一(秋田工業高等専門学校), 大賀竜平(金沢工業大学), 中野景太(鹿児島工業高等専門学校), 宮腰貴利(室蘭工業大学), 琴屋景太(金沢工業大学・院), 石川真太朗(金沢工業大学・院), 坂口誠治(北九州工業高等専門学校), 谷口慎之介(東京都立産業技術高等専門学校), 犬丸春希(金沢工業大学), 安部心源(秋田工業高等専門学校), 加藤古都(東京大学・院), 金子賢人(東京大学・院), 福森 樹(東京農工大学)

日本航空宇宙学会会員の皆様へ

論文集編集委員会委員長 川勝康弘

Aerospace Technology Japan の通年随時刊行化のお知らせ

Aerospace Technology Japan (正式名称:Transactions of the Japan Society for Aeronautical and Space Sciences, Aerospace Technology Japan)は、航空宇宙技術に特化した成果に関する英文の査読付原著論文集であり、オンラインジャーナルとして刊行されています。

Aerospace Technology Japanについては、「第32回 宇宙技術および科学のシンポジウム(ISTS)」の論文収録の完了を受け、その刊行のあり方について検討を進めてきました。その結果、2017年以來採用してきた「隔月定期刊行」に代えて、2022年より、論文採択後の迅速な掲載が可能となる「通年随時刊行」を採用することにしました。和文オンラインジャーナル「航空宇宙技術」と同様の刊行形式となります。

今後とも、当学会の論文集へのご投稿をお願い申し上げます。

日本航空宇宙学会関西支部 第480回航空宇宙懇談会

主催：日本航空宇宙学会関西支部

共催：大阪大学大学院基礎工学研究科 機能創成専攻（予定）

日時：2022年2月4日（金）15時～17時

実施方法：Webexによるオンラインにて開催いたします。

ミーティングリンクは、後日、参加申込者にお知らせいたします。

講演1

軽金属材料の圧縮特性に及ぼすひずみ速度と温度の影響

大阪大学大学院基礎工学研究科

名誉教授 小林 秀敏

金属材料が塑性変形するとき、与えられたエネルギーの一部が熱に変換される。準静的試験では、発生した熱は試験機の治具などに伝わり材料の温度変化は極めて小さいが、衝撃変形では熱伝導の十分な時間的余裕がなく変形は断熱的で、特に熱伝導率の小さい鋼やチタン合金では比較的大きな温度上昇が生じる。そのため、金属材料の広い試験温度域、ひずみ速度域での変形挙動を議論するためには、塑性変形中に発生した熱による材料の温度上昇についても考慮する必要がある。

本講演では、広範な温度域(77K～773K)における β 型チタン合金のホプキンソン棒を用いた衝撃圧縮試験および万能材料試験機による準静的圧縮試験を実施し、圧縮変形挙動に及ぼすひずみ速度および試験温度の影響について報告する。また、衝撃試験における試験材の温度上昇による強度低下を考慮して、仮想的な高速等温変形挙動を推定し、準静的試験結果と比較することで純粋なひずみ速度依存性についても紹介する。さらに、準静的圧縮試験および衝撃圧縮試験中の試験片の温度変化を熱電対および赤外線放射温度計を用いて計測し、塑性変形の熱変換率について実験的検討を行った結果についても報告する。また、軽量金属材料の代表的な発泡アルミニウムの圧縮変形挙動について、その負荷速度依存性を考慮した構成式についても併せて報告する。

講演2

宇宙・地球・生態を貫く粉体の物理

大阪大学大学院理学研究科

教授 桂木洋光

地球を含む太陽系固体天体の表面の大部分は微小な固体粒子群（粉体）で覆われており、その進化史などの適切な理解のためには、粉体の従う物理法則の解明が必要不可欠となる。しかし、粉体の物理には未だに多くの未解明問題が残されており、その特性は基礎・応用の両面から現在も盛ん

に研究されている。このような現状の中、我々は特に粉体層への固体や液滴の衝突実験に取り組んできた。粉体層の表面に隕石などが高速で衝突するとご存知の通りクレーター孔が形成される。また、天体の表面に探査機器等を安全に着陸させるためには、粉体層への固体低速衝突ダイナミクスの理解も欠かすことができない。さらに、最近の実験的研究により、地球上の生物生態を制約する粉体物理の特性が固体天体表面地形の形成過程と深く関連する可能性についても明らかにされつつある。本講演では、我々がこれまでに行ってきました「様々な条件下での粉体層への低速衝突によるクレーター形成現象」に関する実験的研究について主に紹介するとともに、宇宙・地球・生物生態の理解をつなげる粉体物理の普遍的特性や意外な特徴についても概説する。

参加費：

無料（参加は学会員に限りません。周りの方や学生の皆様にもお伝え下さい。）

参加登録：

①氏名 ②所属 ③役職 を 2021年2月1日（火）までに下記事務局までご連絡ください。

問合先：

大阪大学 大学院基礎工学研究科

日本航空宇宙学会 2021年度関西支部事務局

<http://branch.jsass.or.jp/kansai/>

TEL: 06-6850-6165 (杉山)

E-mail:

jsass-kansai2021@flow.me.es.osaka-u.ac.jp

【有料会告】

●名古屋大学 大学院工学研究科航空宇宙工学専攻 教員公募●

1. 募集人員 助教1名（任期5年・再任は1回限り可能）
2. 所属 航空宇宙工学専攻・空力・推進講座・流体力学研究グループ
3. 専門分野 流体力学（空気力学、乱流、衝撃波など航空分野に関連する流体力学の実験的・数値的・理論的研究）
4. 担当科目 機械・航空宇宙工学実験、流体力学セミナー・特別実験、数学・物理・流体力学に関する演習など
5. 応募資格
 - (1) 博士の学位を有する方（着任までに取得見込の方を含む）
 - (2) 専門分野に研究業績がある方
6. 着任時期 2022年7月1日以降のできるだけ早い時期
7. 勤務形態
 - ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。
https://education.jourekun.jp/thers_ac/act/frame110010928.htm
 - ・給与は本学において定める年俸制とする。
8. 提出書類
 - (1) 履歴書（写真貼付、連絡先、E-mailアドレスを明記）
 - (2) 研究業績リスト（原著学術誌論文、国際会議論文、レビュー、著書、特許、受賞、招待講演等に分類）
※責任著者（corresponding author）にアンダーラインを付すこと
 - (3) 所属学会、学会や社会における活動、国際的活動
 - (4) 主要原著学術誌論文の別刷5編以内（PDF、コピーも可）
 - (5) 競争的資金の獲得状況（科研費・助成金・共同研究等、代表・分担を明記のこと）
 - (6) これまでの研究概要（図表込みでA4で2ページ以内）
 - (7) 教育・研究に対する抱負（図表込みでA4で1ページ以内）
 - (8) 応募者に関するコメントを求める方2名の連絡先
9. 応募締切 2022年3月4日（金）必着
10. 選考方法 書類審査により候補者を選考し、面接を行います。選考結果は決定次第、通知します。
11. 書類送付先 電子応募を原則としますが、困難な場合には郵送でも受け付けます。
 - (1) 電子応募 提出書類を1つのPDFにまとめて、電子メール添付による送付あるいはアップロードしたファイルサーバーのアドレスを電子メールにてご連絡ください。PDFファイルにはパスワードを設定し、パスワードは別途お知らせください。電子メールの件名は「航空宇宙工学専攻教員応募」としてください。内容を確認後、応募書類受領の連絡をいたします。
 - (2) 郵送 提出書類各1部およびそれらを1つにまとめたPDFを保存した電子媒体（USBメモリ等）を入れた封筒に「航空宇宙工学専攻教員応募書類在中」と朱書きの上、簡易書留で郵送して下さい。
(1)または(2)の送付先：
〒464-8603 名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院工学研究科 航空宇宙工学専攻 専攻長 原 進
電話: (052)789-4416／E-mail: haras@nuae.nagoya-u.ac.jp
12. 問合せ先
〒464-8603 名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院工学研究科 航空宇宙工学専攻 教授 長田孝二
電話: (052)789-3395／E-mail: nagata@nagoya-u.jp
13. その他
 - ・本公募では、研究業績、社会貢献等の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用いたします。
 - ・応募書類に含まれる個人情報は選考・採用の目的以外には使用いたしません。また、応募書類は原則として返却いたしません。
 - ・面接に要する交通費は支給しません。

以上

【有料会告】

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 教授 公募

1. 公募職種及び人数： 教授（教育職） 1名
2. 配属部署： 宇宙科学研究所 宇宙飛翔工学研究系
3. 求める人材像

今回募集する教授（教育職）には、宇宙システムへの適用を前提として、新たな複合材料そのものの研究や複合材料の特性予測技術の研究を推進するとともに、複合材料の損傷や破壊などのメカニズムに関する専門知識を活かし、開発過程とともに不具合発生時も含め、宇宙科学プロジェクトを強力に支援することを求めます。さらに当研究所の大学共同利用の役割を理解し大学等の研究者と協調して宇宙科学プロジェクトを中心とする学術研究を遂行するとともに、専門研究能力を生かして当機構内の研究開発やプロジェクトなどの各種活動に積極的に参加し、将来の宇宙開発・宇宙利用に資する人材育成に貢献できる意欲あふれる人材を求めます。また、必要に応じて、関連企業などと連携した共同研究も推進することのできる人材を前提とします。

4. 応募資格： 博士号を有すること
5. 着任時期： 決定後できるだけ早い時期。ただし、機構の予算状況により、本人との調整を要する場合があります
6. 応募締め切り： 2022年 1月 27日(木) 12時00分(日本時間) 必着
7. 問い合わせ先：
宇宙飛翔工学研究系 研究主幹 澤井秀次郎 E-mail : sawai.shujiro@jaxa.jp
8. 詳細はホームページ http://www.jaxa.jp/about/employ/educator_j.html を参照下さい。

本会共催・協賛・後援行事

原子力総合シンポジウム 2021

主 催：日本原子力学会
期 日：2022年1月17日(月)
会 場：Zoom ウェビナーによるオンライン開催

日本伝熱学会関東支部セミナー 「バイオ伝熱に関しての最新研究の紹介」

主 催：日本伝熱学会
期 日：2022年1月21日(金)
会 場：オンライン開催

第29回超音波による 非破壊評価シンポジウム

主 催：日本非破壊検査協会
期 日：2022年1月24日(月), 25日(火)
会 場：オンライン（Zoom）形式

第50回ガスターインセミナー

主 催：日本ガスターイン学会
期 日：2022年1月27日(木), 28日(金)
会 場：Zoom を用いたオンライン開催

第13回日本複合材料会議 (JCCM-13)

主 催：日本材料学会
期 日：2022年3月7日(月)～9日(水)
会 場：大阪市立大学杉本キャンパス（オンラインとのハイブリッド開催）(大阪市住吉区杉本3-3-138)

第9回制御部門マルチシンポジウム

主 催：計測自動制御学会
期 日：2022年3月7日(月)～10日(木)
会 場：オンライン

2021年度衝撃波シンポジウム

主 催：日本衝撃波研究会
期 日：2022年3月9日(水)～11日(金)
会 場：立命館大学 びわこ・くさつキャンパス（滋賀県草津市野路東1-1-1）

スマートライフ2022年大会

主 催：モバイル学会（スマートライフ学会
に名称変更予定）
期 日：2022年3月11日(金), 12日(土)

会 場：オンライン開催

The 7th International Conference on
Jets, Wakes and Separated Flows
(ICJWSF-2022)

主 催：ICJWSF-2022
期 日：2022年3月15日(火)～17日(木)
会 場：オンライン開催

第59回日本伝熱シンポジウム

主 催：日本伝熱学会
期 日：2022年5月18日(水)～20日(金)
会 場：長良川国際会議場（岐阜市長良福光2695-2）

Asian Congress of Structural and
Multidisciplinary Optimization 2022
(ACSMO2022)

主 催：Asian Society of Structural and
Multidisciplinary Optimization (AS-SMO)
期 日：2022年5月22日(日)～26日(木)
会 場：くにびきメッセ（松江市）